

平成30年 第3回 糸島市議会定例会 一般質問概要

日程	順	議員名	件 名
6月12日 (火)	1	並里 弘二	観光とブランド糸島の促進による自主財源アップの取り組みについて
			空き家対策について
			今後の社会情勢の変化に伴う本市の事前対応（事前準備）について
	2	笹栗 純夫	SDGs（エスディージーズ）の取り組みについて
			九州大学と地元県立高校2校との高大連携事業について
			自然災害、火災から市民を守る取り組みについて
			祖父母の“孫育て”応援について
	3	小島 忠義	足腰の強い自治体運営について
			教育環境の改善策について
	4	伊藤 千代子	官製談合の防止と公文書の作成、管理について
			保育所の移管先選定と法令順守について
			雷山の運動公園建設と業者選定について
バス中心の公共交通施策の充実について			
6月13日 (水)	1	波多江 貴士	観光のまちづくりと中心市街地活性化について
	2	井上 健作	地方自治法等の一部を改正する法律について（平成29年6月9日公布）
	3	後藤 宏爾	伊都国歴史博物館と志摩歴史資料館の今後の活用について
			コミュニティバスの充実について
			市が管理する駅のトイレの洋式化とバリアフリーの問題
6月14日 (木)	1	柳 明夫	人口減少が進む中山間・漁村地域の状況と内発的な振興策について
			公共施設等総合管理計画・個別施設計画（案）について
	2	徳安 達成	安定ヨウ素剤の事前配布について
			「稼げるまち」への施策展開について
	3	藤井 芳広	施設利用者を増やし、維持費を抑える糸島市運動公園等整備計画にするための方策について

日程	順	議員名	件名	要旨
6月12日 (火)	1	並里 弘二	観光とブランド糸島の促進による自主財源アップの取り組みについて	<p>(1) 観光について 直近の来訪者数(国内外)と消費額(経済波及効果)は。来訪者数増加の主な要因は。通過型から滞在型(消費額アップ)への課題と対策は。6/15 施行の民泊新法の見通しと対策は。糸島版 DMO の進捗状況と課題は。最後に、糸島版 DMO を柱とした具体的ビジョンとご決意をお伺いする。</p> <p>(2) ブランド糸島について 直近の市外への農産物出荷額と増加の主な要因は。農産物以外に、商工、観光等全産業に波及する為の対策は。新商品開発(花卉園芸や加工品等) 竹やジビエの販売強化策は。今後の販路拡大の方策は。九州大学の連携強化、及び「成果発表会」を受けての取り組みは。連携協定を締結している相模女子大学の進捗状況と中村学園大学や西南学院大学との今後の連携の目的と方向性は。最後に、一層のブランド糸島構築に向けてのご決意をお伺いする。</p>
			空き家対策について	<p>(1) 直近の空き家総数と倒壊等の恐れがある「特定空き家」数は。</p> <p>(2) 現状の主な空き家課題は。</p> <p>(3) 市庁内の組織体制は8ヶ所あるが、スピーディで円滑な連携と情報共有はなされているのか。</p> <p>(4) 「糸島市空家等対策協議会」の進捗状況と機能はなされているのか。</p> <p>(5) 定住に繋がる「空き家バンク」の更なる推進は。</p> <p>(6) 最後に、今後の空き家対策についてのご決意をお伺いする。</p>
			今後の社会情勢の変化に伴う本市の事前対応(事前準備)について	<p>(1) 2019年5月1日の新元号開始に伴うシステム変更等の対応をお伺いする。</p> <p>(2) 2022年4月開始予定の成人年齢18歳引き下げに伴う関連法案への対応、特に消費生活関連(契約等問い合わせ)や若者保護の観点からの対応をお伺いする。</p>

6月12日 (火)	2	笹栗 純夫	SDGs (エスディーズ) の取り組みについて	<p>(1) 市長は市政方針で「持続可能な糸島を創っていくために(中略)第2次糸島市長期総合計画の策定を開始する」と述べられている。「持続可能な開発目標」(SDGs)を策定に取り組んで行かないか。</p> <p>(2) SDGs (持続可能な開発目標)に関する学校教育について、政府は2020年度以降の新学習指導要領の実施に基づき進めていく方針を出しているが、教育委員会の見解を伺う。</p>
			九州大学と地元県立高校2校との高大連携事業について	<p>(1) 糸島市と九州大学との連携事業の現状について伺う。</p> <p>(2) 県立糸島農業高校と九州大学農学部との共同研究は生徒の学習への意欲向上につながると信じる。糸島市が橋渡しすることはできないか。</p> <p>(3) 県立糸島高校は日本で唯一、郷土博物館が常設されている。糸島高校歴史部と九州大学文学部史学科との連携した考古学研究に取り組めないか。これも、糸島市が橋渡しすることができないか。</p> <p>(4) 九州大学へ自宅から通学させたいと願われている保護者の希望にお応えするため、教育委員会としてどのような施策を考えておられるのか。</p>
			自然災害、火災から市民を守る取り組みについて	<p>(1) ため池の耐震診断の結果報告をどのように市民に周知するのか。大量降雨が予測され、堤防決壊の恐れがある場合、市民をどのように守るのか。</p> <p>(2) 平成29年3月12日施行の道路交通法の改正で、それ以降に普通免許を取得した人は、3.5トン以上の車両を運転できない。消防ポンプ車を運転できない新規加入消防団員が出てくる可能性がある。準中型免許取得の助成と、軽量の消防車両の活用を検討しないか。</p> <p>(3) 他県で連続放火の事件が発生している。放火犯罪を阻止する取組を伺う。</p> <p>(4) 平成30年度から初期消火協力者への消火器提供事業が開始され、行政区や隣組で消火器を購入された場合も提供事業の対象となるのか確認する。</p>
			祖父母の“孫育て”応援について	<p>(1) 市は祖父母が“孫育て”している実態を把握されているか。</p> <p>(2) 現在、祖父母の“孫育て”の手引き書なるものを準備されているか。</p> <p>(3) 「ここが変わった！子育ての今」「孫育てQ&A」などを収録した「祖父母手帳」や祖父母向け子育て情報のリーフレットなどを作成し配布しないか。</p>
	3	小島 忠義	足腰の強い自治体運営について	<p>(1) 行財政改革の実行により目指す具体的な数値について</p> <p>(2) 稼ぐ糸島市にするための対策について</p> <p>(3) 糸島版DMOの取り組みについて</p>
			教育環境の改善策について	<p>(1) 学校規模適正化検討委員会について</p> <p>(2) 家庭環境の違いによる影響と対策について</p> <p>(3) 生きる力を育む教育について</p>

6月12日 (火)	4	伊藤千代子	官製談合の防止と公文書の作成、管理について	(1) 合併後、市の職員が官製談合防止法違反で逮捕、起訴された事件はいつだったか。 (2) 行政の公平性確保のため、法令順守、公務員倫理の徹底をはかる職員研修について (3) 利害関係者の便宜を図るとは、具体的にどういうことか。 (4) 議会での虚偽答弁、虚偽説明、虚偽公文書及び、「存在しない法人」の業者選定について (5) 公務員の犯罪(虚偽公文書作成等罪、背任罪)について
			保育所の移管先選定と法令順守について	(1) 行政が移管した保育所の移管先、無償譲渡した保育所財産の資産価値、及び無償譲渡した理由について (2) 「糸島市立保育所移管先選定委員会設置規程(告示第164号)」と、移管先応募資格について (3) 移管先選定過程における公文書について
			雷山の運動公園建設と業者選定について	(1) 総事業費、及びその中で体育館の建設費用について (2) 廃止、統合される施設について (3) 運動公園建設に関わる検討段階での委員の任命について (4) 業者選定について
			バス中心の公共交通施策の充実について	(1) 浦志の新駅建設、中央ルートに続き、波多江駅から九大へ鉄道を敷設し、新駅を建設する構想について (2) 糸島全域にバス交通を充実させる交通対策について
6月13日 (水)	1	波多江貴士	観光のまちづくりと中心市街地活性化について	(1) 観光振興基本計画の進捗と今後の課題について (2) DMO設立支援事業について (3) 観光のまちづくりにおける中心市街地の位置づけについて (4) 中心市街地の現状認識と将来像について
	2	井上 健作	地方自治法等の一部を改正する法律について(平成29年6月9日公布)	(1) 改正の背景は何か。 (2) 改正法の概要について (3) 地方自治法改正の具体的内容について 内部統制に関する方針の策定とは。 監査制度の充実強化について 決算不認定の場合の処置について 地方公共団体の長等の損害賠償責任について (4) 施行期日は何日なのか。 (5) 糸島市の取組みについて
	3	後藤 宏爾	伊都国歴史博物館と志摩歴史資料館の今後の活用について	(1) 怡土と志摩の地域性の違い。 (2) 二つの博物館の意義。 (3) 地域に根差した博物館にしていくには。

6月13日 (水)	3	後藤 宏爾	コミュニティバスの充実について	(1)市内のコミュニティバスの状況。 (2)旧二丈町のコミュニティバスの状況。 (3)伊都国歴史博物館と志摩歴史資料館へのアクセスについて (4)コミュニティバスの充実と改善。
			市が管理する駅のトイレの洋式化とバリアフリーの問題	(1)各駅の状況。 (2)各駅のトイレの状況。
6月14日 (木)	1	柳 明夫	人口減少が進む中山間・漁村地域の状況と内発的な振興策について	(1)市の人口減少地域活性化対策モデル事業について 事業を開始した理由と目的について モデル4地域の人口減少の要因、今後の課題について 農村・漁村部の3地域に対する本事業の到達状況について (2)中山間・漁村地域対策の勘所は何か。 モデル地域の長系・福吉と姫島の状況、地域振興へのとりくみの特徴。 上記3地域が示す人口減少対策の勘所は何か。 当面の対策について 本事業のこれからの展開、コミュニティの維持や「小さな経済」の創出、市の横断的な推進体制と住民との協働による地域振興の仕掛け作りなど。 (3)暮らし、地域の足下からの内発的循環型経済づくりを本格的に。 中山間・漁村地域の振興のためにも、糸島市経済の計量的な分析ツールの確立は不可欠ではないか。 RE S A S、産業連関表に基づく糸島市経済の特徴(強みと弱み)、 低い経済自立度(2013年RE S A Sによると、自立度を示す地域経済循環率は県内47位)を向上させるための方策について、「漏れ」を小さくすることが、中山間・漁村地域の振興に波及する。 ランドデザインをどう描くか。
			公共施設等総合管理計画・個別施設計画(案)について	(1)健康福祉センターふれあい周辺施設の検討について (2)第1期アクションプランに至る「市民意見」の反映について 第1期アクションプランとはどのような内容か。 住民や利用者の意見の反映、合意形成をどのように構想しているか。
			安定ヨウ素剤の事前配布について	(1)昨年秋のUPZ圏内の事前配布の状況について (2)現在の安定ヨウ素剤の備蓄の状況について (3)UPZ圏外においても、備蓄体制をUPZ圏内と同じくできないか。また、希望者に対する事前配布を行うことができないか。

6月14日 (木)	2	徳安 達成	「稼げるまち」への施策展開について	<p>(1) 市の財政状況、特に自主財源の推移と今後の見込みについて</p> <p>(2) 3月議会で市長の所信表明における「稼げるまち」について</p> <p>(3) 糸島ブランドを市内の農林水産業者、商工業者の所得向上へつなげる施策について</p> <p>(4) 地域経済の好循環を生み出すための「将来に向けての投資」について</p>
	3	藤井 芳広	施設利用者を増やし、維持費を抑える糸島市運動公園等整備計画にするための方策について	<p>(1) 施設利用者を増やすための方策。 カフェなどの収益施設の整備について 内装への間伐材の利用について 交通の便をよくするための施策について 下溜池の活用について 市民協働による公園の利活用について キャンプ場、焚火のできる場所、手動式井戸の設置について</p> <p>(2) 維持費を抑えるための方策。 再生可能エネルギーの導入について 施設利用料と施設管理業者の管理運営費について</p>